

色や形状などの商品外観特徴を活用した商品PRの未来

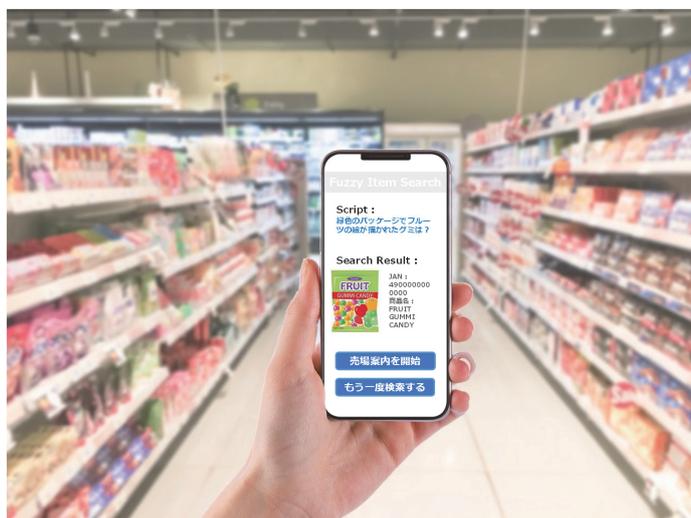


- 商品画像データから商品外観の特徴点を抽出してデータ化
- 色・形状・イラストなどの情報を、商品検索などのサービスに活用
- 商品名が不明・商品実物が無い状況下における商品特定を支援

目指す将来像

商品外観の特徴点(色・形状・イラストなど)を抽出・言語化し、それらを活用した商品検索やレコメンドなどを行うサービスの検証を実施しています。

将来的にスマートフォンやロボットを用いて、消費者の抽象的な要望や趣向に合わせた商品検索・提案サービスの実現を目指しています。



技術の特徴

生成AIを用いた画像解析

商品の形状とパッケージに描かれたイラストやコラボ商品などの外観情報を生成AIで言語化し、商品の見た目に関する情報をデータ化します。

OCRによる文字列と色情報の補完

商品を表示する「しっとり」や「すっぱい」などのパッケージ表記情報や、パッケージ全体の色情報を分析し、色のイメージによる商品特定もサポート可能です。

形状・イラストなどの特徴点抽出としてGPT-4、文字認識・色検知としてGoogle Vision API(OCR)を利用

